



とびっくす

No.121

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

令和6年度秋季ヤマトシジミ資源量調査結果 ～資源量は春季を上回るも小型成貝は低水準～

島根県水産技術センター内水面浅海部では、毎年6月(春季)と10月(秋季)に宍道湖に生息するヤマトシジミ(殻長2mm以上)の資源量を推定するための調査を行っています。今年度の春季調査を10月7・9・10日に実施しましたので結果を報告します。

調査方法

図1に示す調査定点(126ヶ所)において試験船「ごず」を使用し、スミス・マッキンタイヤ採泥器で各定点2回(面積0.1m²)、湖底の砂泥と一緒にヤマトシジミを採集しました。採集した砂泥サンプルをフルイにかけてヤマトシジミをサイズ別に選別し、生息密度と水深別の漁場面積から宍道湖全体の資源量を算出しました。

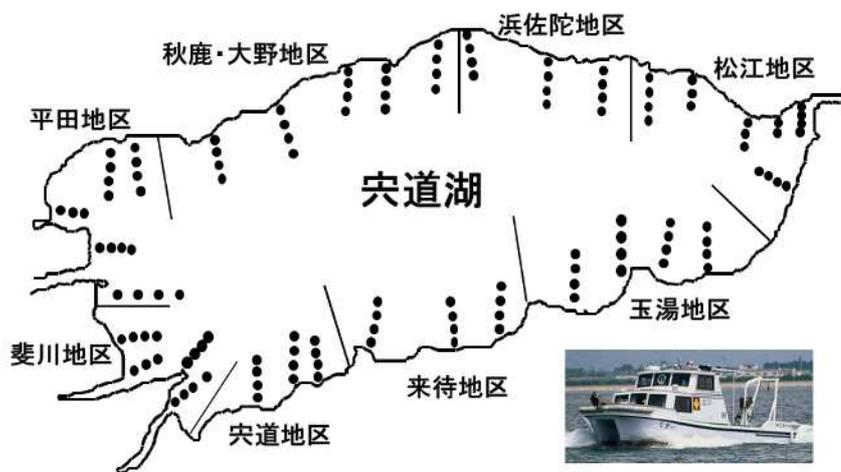


図1 調査地点

試験船「ごず」

調査結果および考察

令和6年度秋季のヤマトシジミの資源量(表)は約4.3万トン、1,095億個が生息していると推定されました。昨年秋季(約4.7万トン)からは約0.4万トン(9%)の減少で推移していますが、本年春季(約3.1万トン)と比べると、約1.2万トン(38%)の増加が見られました(図2)。

内訳をみると、漁獲対象となる殻長17mm以上のサイズは、約2.7万トン、90億個でした。これは、平成14年以降の、秋季資源量の過去22年平均値(約1.9万トン)の139%でしたが、前述のとおり昨年秋季からはやや減少していました。

表 ヤマトシジミの資源量

サイズ		重量 (トン)	個体数 (億個)
未成貝	殻長12mm未満	7,627	924
	殻長12mm以上17mm未満	7,963	82
成貝	殻長17mm以上(漁獲対象)	27,024	90
	成貝合計	34,987	171
全資源量		42,614	1,095

今後の見通し

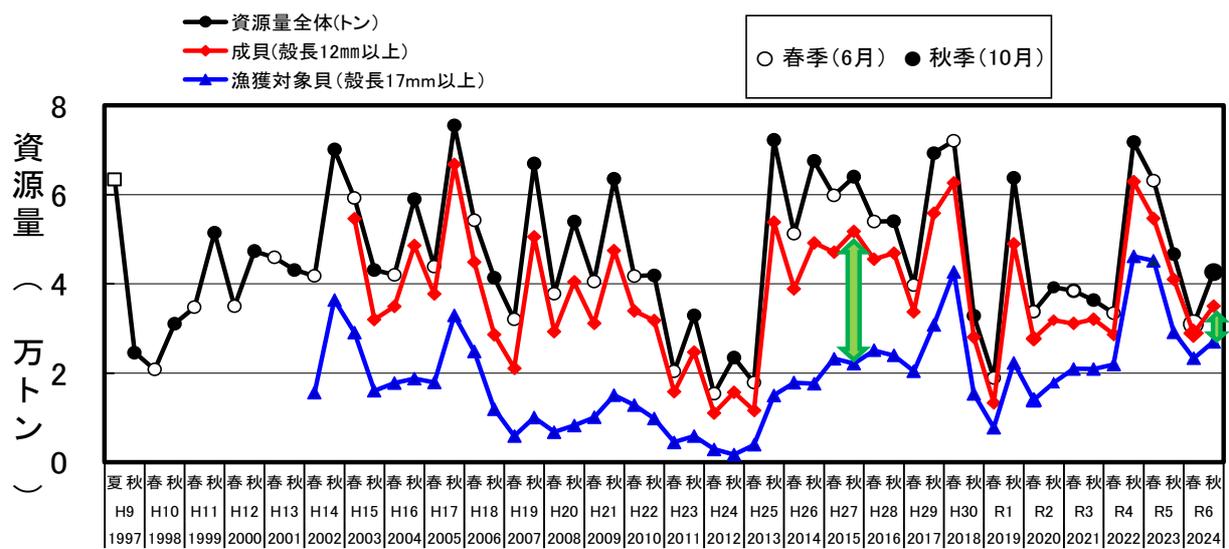


図2 宍道湖のヤマトシジミ資源量の推移

今季の漁獲対象資源重量は本年春季と比較して 16%の増加、資源量全体についても 38%の増加となりました。漁獲対象資源は平成 14 年以降の秋季調査の中で 6 番目に高く、過去 22 年間の平均の 139%でした(図 2、図 3 青枠部分)。

また、漁獲対象となる直前の小型成員(殻長 12 mm 以上 17 mm 未満)の資源量は過去の秋季調査と比較すると過去最低値であり、資源全体が安定的に 6 万トン前後で維持されていた平成 25 年～28 年と比べるとかなり低い水準です(図 2: 成員と漁獲対象員との差分、上下緑矢印)。ただし、本年春季の個体数密度に比べるとわずかながら増加しています(図 3 緑枠部分)。

さて、宍道湖漁協では本年 8 月に、漁獲対象資源の減少を受け、資源管理対策として漁具(じょれん)の目合い拡大(11 mm→12 mm)の取り組みを開始したところです。今回の調査ではその効果もあり、令和 4 年秋季以降続いていた漁獲対象資源の減少に歯止めがかかりました。

一方で小型成員の低水準は継続しており、中期的な動向は予断を許さない状況です。幸い未成員(殻長 12 mm 未満)の個体数密度については昨年秋季に比べて大きく増加していることから(図 3 黄色枠部分)、今後も臨機応変に資源管理を行うことで、シジミ全体の資源の回復を図ることが重要となります。

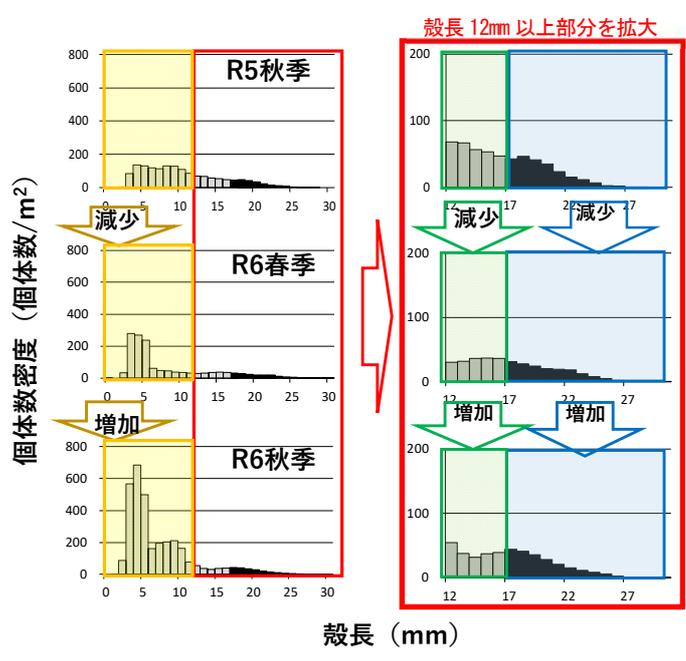


図3 宍道湖全体のヤマトシジミの殻長組成 (R5年秋季～R6年秋季 全調査地点の平均)

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1
 TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079
 ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>
 E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp

